

漢文 句形これだけ100

迷ったら、まずこの100個。

漢文は覚える句形の数が決まっています。だから、やった分だけ点になります。

使い方 右の空欄に答えだけ書きます。1問10秒。

全部で100問。第1章だけでも、まず一周してください。

この100個の選び方 誰でも古典塾の無料ドリルから、入試・定期テストで実際によく問われる形だけを選び直しました。

訓読返り点 次の漢文を読む順序（先に読む字から）として正しいものを、後のア～ウから選べ。

- 1 再読文字の説明として正しいものを選べ。
ア 一字を二度読む字（未・将・当など） / イ 読まない字 / ウ 韻を踏む字
- 2 上中下点の働きとして正しいものを選べ。
ア すぐ下の一字から返る / イ 一二点をはさんで、さらに上へ返るときに使う / ウ 詩の韻をそろえる
- 3 レ点の働きとして正しいものを選べ。
ア 二字以上を隔てて下から上へ返る / イ 句の終わりで読むのをやめる / ウ すぐ下の一字を先に読み、上の一字へ返る
- 4 欲スレ登ラント二高山ニ一
ア 高→山→登→欲 / イ 欲→登→高→山 / ウ 欲→登→山→高
- 5 欲スレ登ラント二高山ニ一
次の漢文に使われている返り点の種類を、後のア～ウから選べ。
ア レ点（すぐ下の一字から上へ返る） / イ レ点と一二点の組み合わせ / ウ 一二点（二字以上を隔てて返る）
- 6 置き字の説明として正しいものを選べ。
ア 二度読む字 / イ 必ず文頭に来る字 / ウ 書いてあるが読まない字（而・於・矣など）
- 7 欲スレ問ハント二師友ニ一
ア 師→友→問→欲 / イ 欲→問→師→友 / ウ 欲→問→友→師
- 8 欲スレ問ハント二師友ニ一
次の漢文に使われている返り点の種類を、後のア～ウから選べ。
ア レ点（すぐ下の一字から上へ返る） / イ レ点と一二点の組み合わせ / ウ 一二点（二字以上を隔てて返る）
- 9 返り点を書く位置として正しいものを選べ。
ア 漢字の右上 / イ 漢字の真上 / ウ 漢字の左下
- 10 「不」「無」「非」に共通する意味はどれか。
ア 打ち消し（～ない） / イ 疑問（～か） / ウ 使役（～させる）

置き字 次の文の傍線部（置き字＝読まない字）の種類を、後のア～ウから選べ。

- 11 学ビテ而不レバレ思ハ則チ罔シ。
次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。
ア 学びて思はざれば則ち罔し / イ 学を思へば則ち罔し / ウ 思ひて学ばざれば則ち罔し
- 12 千里ノ行モ、始マル二於足下ヨリ一。
次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。
ア 千里を足で測る / イ 千里の旅も足もとから始まる / ウ 千里の道で足を止める

13 カハ抜キレ山ヲ兮気ハ蓋フレ世ヲ。

ア 接続の字（而。前の語に「て・して／ども」を添える） / イ 前置詞（於・于・乎。場所・比較・受身などを示す） / ウ 文末・句調の字（矣・焉・兮）

14 温タタメテレ故キヲ而知レ新シキヲ。

ア 接続の字（而。前の語に「て・して／ども」を添える） / イ 前置詞（於・于・乎。場所・比較・受身などを示す） / ウ 文末・句調の字（矣・焉・兮）

15 霜葉ハ紅ナリ二於花ヨリモ一。

傍線部「於」のはたらきとして最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

ア 場所・対象（～に・～で・～を） / イ 比較（～より） / ウ 受身（～に…られる）

16 霜葉ハ紅ナリ二於二月ノ花ヨリモ一。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

ア 霜の葉は二月の花の中で赤い / イ 霜の葉は二月の花に染められる / ウ 霜にあった葉は二月の花よりも赤い

17 良薬ハ苦ケレドモレ口ニ而利アリ二於病ニ一。

ア 接続の字（而。前の語に「て・して／ども」を添える） / イ 前置詞（於・于・乎。場所・比較・受身などを示す） / ウ 文末・句調の字（矣・焉・兮）

18 苛政ハ猛ナリ二於虎ヨリモ一。

ア 接続の字（而。前の語に「て・して／ども」を添える） / イ 前置詞（於・于・乎。場所・比較・受身などを示す） / ウ 文末・句調の字（矣・焉・兮）

再読文字

次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

19 過ギタルハ猶ホレ不ルガレ及バ。

次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。

ア ちょうど…のようだ / イ まだ…ない / ウ 当然…すべきだ / エ どうして…しないのか

20 当ニレ雪グレ恥ヲ。

傍線部「当」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

ア すべからく / イ まさに / ウ よろしく

21 須ラクレ惜シムレ陰ヲ。

ア 須らく陰を惜しまんとす / イ 須らく陰を惜しまず / ウ 須らく陰を惜しむべし

22 人須ラクレ立ツレ志ヲ。

次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。

ア …するのがよい / イ まだ…ない / ウ ちょうど…のようだ / エ ぜひ…する必要がある

23 盍ゾ二各々言ハ一。

ア 盍ぞ各々言はざる / イ 盍ぞ各々言ふべし / ウ 盍ぞ各々言はんとす

24 故郷応ニレ知ル。

次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選べ。

ア まだ…ない / イ きっと…だろう / ウ ぜひ…する必要がある / エ どうして…しないのか

25 盍ゾ二反リテ求メ一。

傍線部「盍」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

ア まさに / イ なほ / ウ なんぞ

26 宜シクレ退ク。

次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選び。

ア ぜひ…する必要がある / イ 今にも…しようとする / ウ まだ…ない / エ …するのがよい

27 当ニレ立ツレ身ヲ。

ア 当に身を立つべし / イ 当に身を立てんとす / ウ 当に身を立てず

28 未ダレ来タラ。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

ア 今にも来ようとしている / イ まだ来ていない / ウ 来るにちがいない

29 宜シクレ従フレ衆ニ。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

ア ぜひみなに従う必要がある / イ 今にもみなに従おうとする / ウ みなに従うのがよい

30 応ニレ咲ク。

次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選び。

ア まだ…ない / イ どうして…しないのか / ウ ぜひ…する必要がある / エ きっと…だろう

重要助字

傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

31 以テ二其ノ智ヲ一解ク

傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ア 手段・方法の「もって」 / イ 原因・理由の「～によって」 / ウ 「以為（おもへらく）」＝思うことには

32 為ル二人ノ所一レ殺ス。

傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ア 「～するところ（もの・こと）」 / イ 受身「～される」（為～所） / ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

33 為ル二敵ノ所一レ破ル。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

ア 人に殺される / イ 君子の徳 / ウ 敵に破られる

34 為ル二人ノ所一レ笑フ。

ア 動詞「なす・つくる・治む」 / イ 断定の「たり」 / ウ 「ために」（目的・利益） / エ 受身「る・らる」（為～所）

35 為ル二之ガ名ヲ一。

ア 動詞「なす・つくる・治む」 / イ 断定の「たり」 / ウ 「ために」（目的・利益） / エ 受身「る・らる」（為～所）

36 為ル二世ノ所一レ用キル。

傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ア 「～するところ（もの・こと）」 / イ 受身「～される」（為～所） / ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

37 善ク為ムレ国ヲ

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

ア 病気を理由に辞退する / イ 勇気のある人 / ウ うまく国を治める

38 為ル二敵ノ所一レ破ル。

ア 動詞「なす・つくる・治む」 / イ 断定の「たり」 / ウ 「ために」（目的・利益） / エ 受身「る・らる」（為～所）

39 与フ二之ニ金ヲ一

次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ア 之に金を与ふ / イ 徳を以て治む / ウ 学ぶ者

40 為ル二人ノ所一レ笑フ。

次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ア 世の用ゐる所と為る / イ 人の笑ふ所と為る / ウ 之を知る

否定疑問反語 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

41 其ノ人、無シレ憚ルコトレ改ムルニ。

傍線部「無」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選び。

ア なし / イ なかれ / ウ ず

42 何ゾ怨ミンレ天ヲ乎や。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

ア 何ぞ天を怨む / イ 天を怨むこと何ぞ / ウ 何ぞ天を怨みんや

43 安クンゾ奪ハン二其ノ志ヲ一哉や。

ア どこでその志を奪うのか / イ どうしてその志を奪えようか、いや奪えない / ウ その志を奪ってしまった

44 安クンゾ能ク為サンレ之ヲ哉や。

次の漢文の句法を、後のア～エから選べ。

ア 否定 / イ 二重否定 / ウ 疑問 / エ 反語

45 子ハ安クンゾ知ルレ之ヲ。

ア あなたはどうしてこれを知っているのか / イ あなたはどうしてこれを知ろうか、いや知らない / ウ あなたはどこでこれを知ったのか

46 豈ニ忘レンレ之ヲ哉や。

ア これを忘れてしまった / イ これを忘れるだろうか / ウ どうしてこれを忘れようか、いや忘れない

47 燕雀安クンゾ知ラン二鴻鵠ノ志ヲ一哉や。

ア 小さな鳥はどこで大きな鳥の志を知るか / イ 小さな鳥にどうして大きな鳥の志がわかるか、いやわからない / ウ 小さな鳥も大きな鳥の志を知っている

48 子ハ安クンゾ知ランレ之ヲ哉や。

次の漢文の句法を、後のア～エから選べ。

ア 否定 / イ 二重否定 / ウ 疑問 / エ 反語

49 誰カ能ク解カンレ之ヲ。

傍線部「誰」の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで書いたものを選び。

ア たれか / イ だれぞ / ウ いづれか

50 子ハ楚人ナル乎カ。

ア あなたは楚の国の人ではない / イ あなたは楚の国の人だ / ウ あなたは楚の国の人ですか

51 安クンゾ知ラン二天命ヲ一哉や。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

ア 安くにか天命を知る / イ 安くんぞ天命を知らんや / ウ 天命を知る安んぞ

52 王侯将相、寧クンゾ有ランレ種ヲ乎や。

次の漢文の句法を、後のア～エから選べ。

ア 否定 / イ 二重否定 / ウ 疑問 / エ 反語

53 豈二人ノカナラン哉や。

ア どうして人の力であろうか、いや人の力ではない / イ なんと人の力であることよ / ウ 人の力であるだろうか

54 不レ可レ不レ慎マ。

「不可不」の読み方として正しいものを、ア～ウから選べ。
ア つつしむべからず / イ つつしまずべし / ウ つつしまざるべからず

使役受身 次の漢文の句法を、後のア～ウから選べ。

55 令ム二民ヲシテ本ニ務メー。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。
ア 民が農業に努めさせられる / イ 民を農業に努めさせる / ウ 民が農業に努める

56 使ム二民ヲシテ衣食ヲ足ラー。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。
ア 民に衣食を足らる / イ 民衣食を足る / ウ 民をして衣食を足らしむ

57 令ム二民ヲシテカヲ励マー。

ア 使役（～させる） / イ 受身（～される） / ウ その他

58 為ル二小人ノ所一レ欺ク。

ア 使役（～させる） / イ 受身（～される） / ウ その他

59 為ル二権臣ノ所一レ害スル。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。
ア 権臣を害させる / イ 権臣を害する / ウ 権臣に害される

60 令ム二民ヲシテ本ニ帰セー。

ア 使役（～させる） / イ 受身（～される） / ウ その他

61 為ル二讒者ノ所一レ害スル。

ア 使役（～させる） / イ 受身（～される） / ウ その他

62 為ル二人ノ所一レ制スル。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。
ア 人をして制せしむ / イ 人を制す / ウ 人の制する所と為る

部分否定 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

63 言ハ不二必ズシモ尽クサーレ意ヲ。

ア 言葉は決して気持ちを伝えない / イ 言葉が気持ちをすべて伝えるとは限らない / ウ 言葉はまだ気持ちを伝えていない

64 言ハ不二必ズシモ尽クサーレ意ヲ。

次の漢文は、部分否定・全部否定のどちらか。
ア 部分否定 / イ 全部否定 / ウ どちらでもない（完全肯定）

65 家貧シクシテ不二常ニハ得一レ油ヲ。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。
ア 家貧しくして常に油を得ず / イ 家貧しくして油を得ること常ならず / ウ 家貧しくして常には油を得ず

66 智者モ千慮ニ必ず有リ二一失一。

次の漢文は、部分否定・全部否定のどちらか。

ア 部分否定 / イ 全部否定 / ウ 単純な否定 / エ どちらでもない（否定語がなく完全肯定）

67 学者ハ未ダ二必ずシモ賢ナラー。

ア 学者はまだ賢くない / イ 学者だからといって必ずしも賢いとは限らない /
ウ 学者はきっと賢くない

68 学者ハ未ダ二必ずシモ賢ナラー。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

ア 学者は未だ必ずしも賢ならず / イ 学者は必ず賢ならず / ウ 学者は未だ賢ならず

69 家貧シクシテ不二常ニハ得一レ油ヲ。

ア 家が貧しくていつも油がない / イ 家が貧しくて決して油を買わない / ウ
家が貧しくていつも油を手に入れられるとは限らない

70 仁者ハ必ず有リレ勇。

次の漢文は、部分否定・全部否定のどちらか。

ア 部分否定 / イ 全部否定 / ウ 単純な否定 / エ どちらでもない（否定語がなく完全肯定）

仮定条件 次の漢文の条件の種類を、後のア～ウから選べ。

71 見テレ義ヲ不ザレバレ為サ。

ア 順接仮定（もし～ならば） / イ 逆接（たとえ～でも） / ウ 順接確定（～ので）

72 死ヲ視ルコト帰スルガゴトシト雖モ。

ア 順接仮定（もし～ならば） / イ 逆接（たとえ～でも） / ウ 順接確定（～ので）

73 若シ用キバ二其ノ言ヲ一。

ア 順接仮定（もし～ならば） / イ 逆接（たとえ～でも） / ウ 順接確定（～ので）

74 縦ヒ失フトモ二寸土ヲ一。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

ア もしわずかな土地を失えば / イ わずかな土地を失うので / ウ たとえわずかな土地を失っても

75 若シ無カラバ二恒ノ心一。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア 若し恒の心無ければ / イ 若し恒の心無からば / ウ 若し恒の心無し

76 苟クモ務メバレ本ヲ。

ア 順接仮定（もし～ならば） / イ 逆接（たとえ～でも） / ウ 順接確定（～ので）

比較選択限定 次の漢文の句法を、後のア～エから選べ。

77 尊ブハレ賢ヲ、莫シレ如クハレ使フニレ能ヲ。

ア 比較（～に及ばない） / イ 最上（～が一番） / ウ 選択（どちらが） / エ 限定（ただ～だけ）

78 語ルハレ利ヲ、不レ如カレ語ルニレ義ヲ。

ア 比較（～に及ばない） / イ 最上（～が一番） / ウ 選択（どちらが） / エ 限定（ただ～だけ）

79 除クハレ患ヒヲ、莫シレ如クハ二未然ニ一。

次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

ア 災いを除くのは未然に及ばない / イ 災いと未然とどちらがよいか / ウ 災いを除くには起こる前が一番だ

80 唯タダ仁者ノミ愛スレ人ヲ。

ア 比較（～に及ばない） / イ 最上（～が一番） / ウ 選択（どちらが） / エ 限定（ただ～だけ）

81 文ルハレ過チヲ、不レ如カレ改ムルニ。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

ア 過ちを文るは改むるに如くは莫し / イ 過ちを文るは改むるに如かず / ウ 過ちと改と孰れか

82 聴クハレ言ヲ、不レ如カレ観ルニレ行ヒヲ。

次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

ア 言を聴くは行ひを観るに如かず / イ 言を聴くは行ひを観るに如くは莫し /
ウ 言と行と孰れか

累加抑揚詠嘆

次の漢文の句法を、後のア～ウから選べ。

83 死スラ且ツ不レ畏レ、況ンヤ其ノ余ヲヤ。

ア 累加（～だけでなく…も） / イ 抑揚（～すら、まして…） / ウ 詠嘆（な
んと…だなあ）

84 不二唯タダニ有ルノミナラーレ才、亦タ有リレ徳。

ア 累加（～だけでなく…も） / イ 抑揚（～すら、まして…） / ウ 詠嘆（な
んと…だなあ）

85 大ナル哉カナ、堯ノ君タルヤ。

ア 累加（～だけでなく…も） / イ 抑揚（～すら、まして…） / ウ 詠嘆（な
んと…だなあ）

86 庶人スラ尚ホ知ル、況ンヤ君子ヲヤ。

ア 累加（～だけでなく…も） / イ 抑揚（～すら、まして…） / ウ 詠嘆（な
んと…だなあ）

87 不二唯タダニ有ルノミナラーレ勇、亦タ有リレ謀。

ア 累加（～だけでなく…も） / イ 抑揚（～すら、まして…） / ウ 詠嘆（な
んと…だなあ）

88 久シイ哉カナ、道ノ不レ行ハレ。

ア 累加（～だけでなく…も） / イ 抑揚（～すら、まして…） / ウ 詠嘆（な
んと…だなあ）

句形総まとめ

次の漢文の句法の種類を、後のア～エから選べ。

89 安クンゾ能ク為サンレ之ヲ哉ヤ。

ア 反語（どうして～か、いや～ない） / イ 疑問（～か。問いかけ） / ウ 詠
嘆（～かな・豈…ずや） / エ 否定（～ず・～なし）

90 用キルハレ人ヲ莫シレ如クハレ長ニ。

ア 比較（A は B に及ばない・～より） / イ 限定（ただ～のみ） / ウ 最上
（～に如くは無し。～が一番） / エ 選択（いずれか。どちらが～か）

91 求ムルハレ富ヲ、莫シレ如クハレ知ルニレ足ルヲ。

ア 比較（A は B に及ばない・～より） / イ 最上（～に如くは無し。～が一
番） / ウ 限定（ただ～のみ） / エ 選択（いずれか。どちらが～か）

92 居ルハレ怨ニ、不レ如カレ改ムルニレ過チヲ。

ア 最上（～に如くは無し。～が一番） / イ 選択（いずれか。どちらが～か）
 / ウ 限定（ただ～のみ） / エ 比較（A は B に及ばない・～より）

93 子ハ安クンゾ知ランレ之ヲ哉ヤ。

ア 反語（どうして～か、いや～ない） / イ 疑問（～か。問いかけ） / ウ 詠
嘆（～かな・豈…ずや） / エ 否定（～ず・～なし）

94 守ルト攻ムルト孰レカ勝レル。

ア 疑問（～か。問いかけ） / イ 比較（A は B に及ばない・～より） / ウ 選択（いずれか。どちらが～か） / エ 反語（どうして～か、いや～ない）

故事成語

- 95 「矛盾（むじゅん）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア つじつまが合わないこと / イ 目的を遂げるため、長い間つらい苦労を耐え忍ぶこと / ウ 失敗すれば後がない、決死の覚悟でのぞむこと / エ 物事を完成させる、最後の大切な仕上げ

- 96 「蛇足（だそく）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 目先の違いにこだわり、結果が同じだと気づかないこと / イ あっても無駄な、余計な付け足し / ウ 大きな団体の末端より、小さな団体の長になるほうがよいこと / エ 負け惜しみが強く、こじつけて言い逃れること

- 97 「四面楚歌（しめんそか）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 欠点がなく完全なこと。また、無事にやりとげること / イ 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと / ウ 周囲がすべて敵で、孤立すること / エ 技巧のあとがなく自然で完全なこと。飾り気がなく純真なこと

- 98 「助長（じょちょう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア そこを通れば立身出世できる関門のこと / イ いつまでも進歩のない人のこと / ウ 多少の違いはあっても本質的には同じであること / エ よけいな手助けをして、かえって害すること

漢詩のきまり

- 99 春眠不覚曉处处聞啼鳥夜来風雨声花落知多少

絶句の各句（第一～四句）の呼び名を選べ。

ア 首聯・頷聯・頸聯・尾聯 / イ 起句・承句・転句・結句 / ウ 序・破・急

- 100 春眠不覚曉处处聞啼鳥夜来風雨声花落知多少

次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

ア 五言絶句（五字×四句） / イ 七言絶句（七字×四句） / ウ 五言律詩（五字×八句） / エ 七言律詩（七字×八句）
